

登録コード	F3B71120	開講年度	2026			
授業科目	バイ オエンジニアリング演習Ⅱ				担当教員	小関 道彦 他
英文授業名	Seminar in Bioengineering II				副担当	照月 大悟・渡辺 健太郎
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生
講義室	繊維28番講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	22Fカリ					
	【2022年度以前カリキュラム対象】 ヒトと環境にやさしい機械を創造するための専門的知識と課題解決能力				⇔	CADや流体力学に関する演習問題を解くことができるようになる。
	【2022年度以前カリキュラム対象】 コミュニケーションおよび情報収集・発信能力				⇔	CADや流体力学で解けなかった問題やわからない課題について関連図書やインターネットを通じて情報収集できるようになる。
	【2022年度以前カリキュラム対象】 課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できるデザイン力と実行力				⇔	情報収集した内容を整理して、問題解決ができるようになる。
	24Fカリ・機械部・ト・バ・イコース, 23Fカリ・機械部・ト・バ・イコース					
	【2023年度以降カリキュラム対象】 課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を有する				⇔	CADや流体力学に関する演習問題を解くことができるようになる。 CADや流体力学で解けなかった問題やわからない課題について関連図書やインターネットを通じて情報収集できるようになる。 情報収集した内容を整理して、問題解決ができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教員とのコミュニケーション（チューター面談）を行い，3次元CADと専門科目（流体力学Ⅰ）の演習を行う。					
(5)授業計画	各回の授業時間は100分である。 順番や内容は変更される場合がある。その際は随時連絡する。 eALPSを授業前に必ず確認すること。 第01回 ホームルーム（チューター面談等） 第02回 ホームルーム（自己点検等） 第03回 流体力学演習 第04回 流体力学演習 第05回 流体力学演習 第06回 応用解析学演習 第07回 応用解析学演習 第08回 電気・電子理論演習 第09回 電子回路演習 第10回 機構学演習 第11回 機構学演習 第12回 機構学演習 第13回 ベクトル解析演習 第14回 ベクトル解析演習 授業アンケート（15分） 第15回 予備日					
(6)成績評価の方法	課題もしくはレポートで評価する。 ただし，eALPSに掲載されるガイダンス資料および以下の注意事項を必ず確認した上で授業に臨むこと。 - 本演習は複数の教員が担当する。 - 授業を理由もなく欠席し，課題とレポートを提出した場合，0点もしくは大幅な減点を行う。 - やむを得ず欠席しなければならない際は，事前・事後（早急に）担当教員へ連絡・欠席についての説明を行い，了解をとること。 - 欠席した際の授業のフォローアップは，担当教員と相談の上，指示を受け，課題提出に支障をきたさないこと。 - また，欠席した回の課題については，担当教員と提出日の確認を行い，速やかに提出すること。 - なお，出席・欠席に関わらず，提出期限を超えた際のレポートは，0点もしくは大幅な減点を行う。					
(7)成績評価の基準	<評定については次の評価基準を基本としている> 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準より下にある					
(8)事前事後学習の内容	この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って，15時間以上の時間外学習が必要となります。 各回の演習，講義の内容を図書館等を利用して事前に学習し，授業後には授業で出された課題について調査・検討し，レポートの作成を行うこと。					
(9)履修上の注意	eALPSを授業前に必ず確認すること。					
(10)質問、相談への対応	質問や相談は随時受け付ける。					

(11)学生へのメッセージ	
(12)その他	
【教科書】	特になし。
【参考書】	必要に応じて参考書を紹介する。